

近畿機関リポジトリ研修会  
(兵庫県大学図書館協議会  
CSI委託事業「近畿における機関リポジトリコミュニティ形成の支援」共催)  
2010年12月10日(金)神戸女子大学

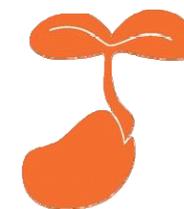


# 神戸大学学術成果リポジトリ Kernelの事例報告

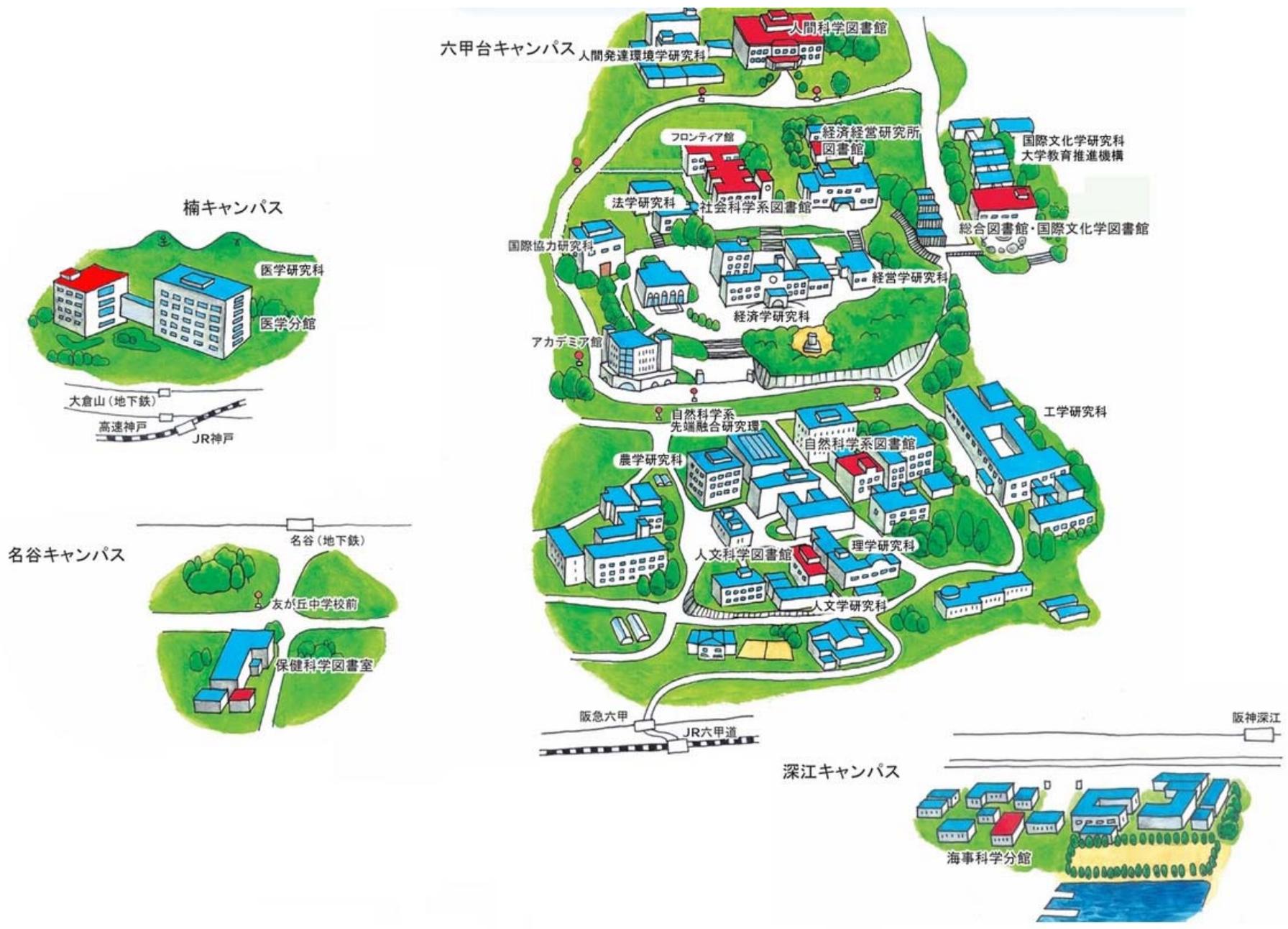
<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/kernel/>

神戸大学附属図書館 末田真樹子  
sueda@lib.kobe-u.ac.jp

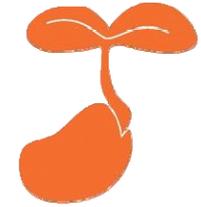
# 目次



- 神戸大学附属図書館について
- Kernelについて
- 事例報告

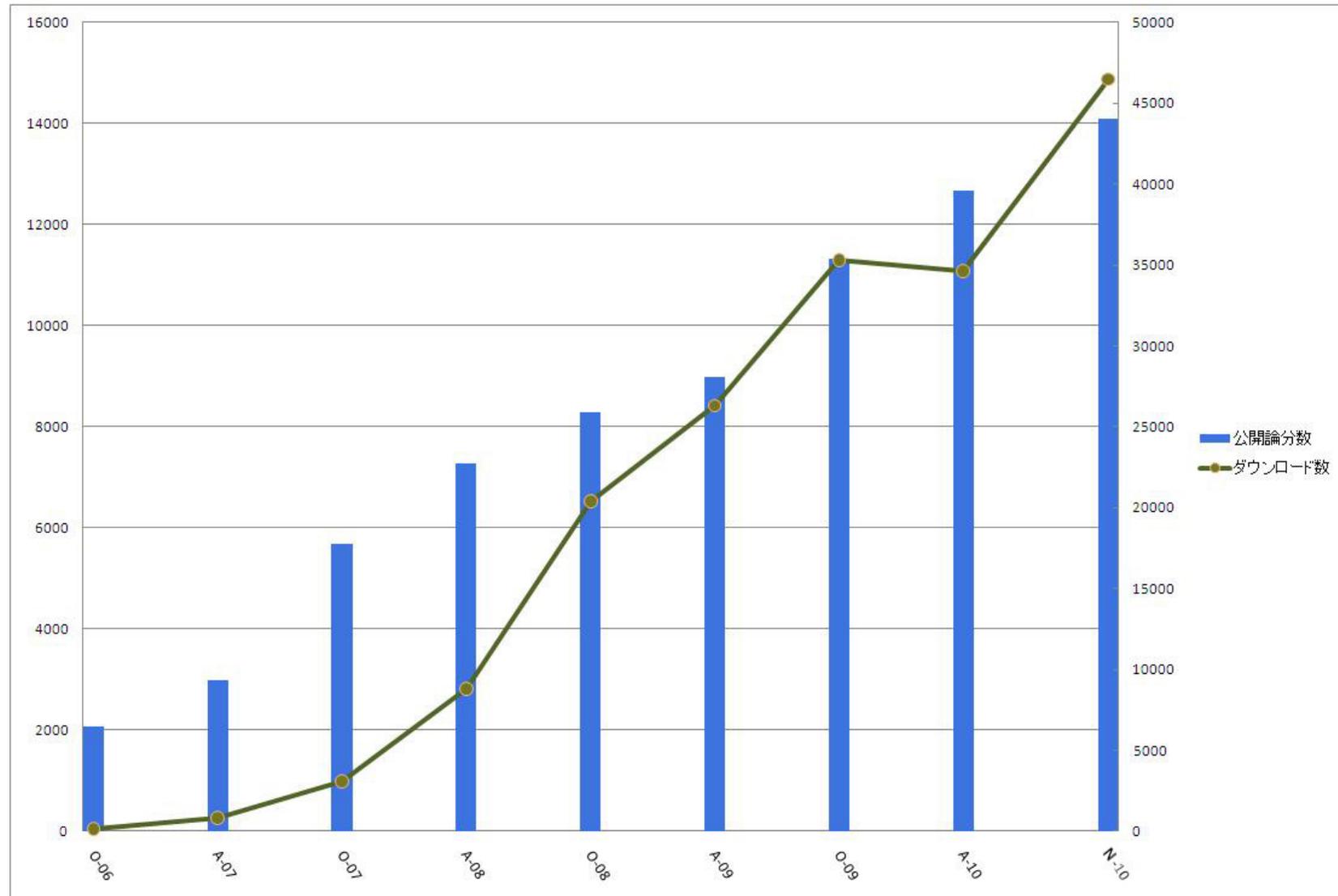
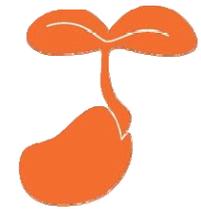


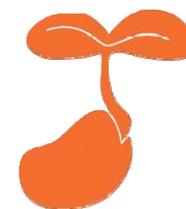
# 神戸大学附属図書館について



- 平成11年(1999)から電子図書館事業を展開
  - 震災文庫デジタルアーカイブ
  - 経済資料
  - 学内研究成果
    - 神戸大学学術成果リポジトリKernel
    - 紀要目次情報 学位論文情報
    - Index to Chromosome numbers in Asteraceae (キク科の染色体数データベース)など、教員作成のDBや教材

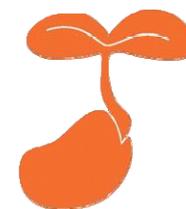
# Kernelについて—統計





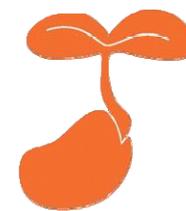
# Kernelについて一年表

- 2005.10 第1回附属図書館審議会開催
- 2005.12 教育研究活性化支援経費により基礎調査、アンケート調査等を実施
- 2006.03 図書館審議会答申
- 2006.04 機関リポジトリ推進委員会
- 2006.07 Kernel試験公開開始
- 2006.10 Kernel正式公開開始

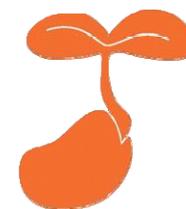


# 本日の視点

- 協力者は誰？
  - 教員
  - 図書館職員
  - 事務職員
- どうやって/何を使って？
- 広報としての機関リポジトリ

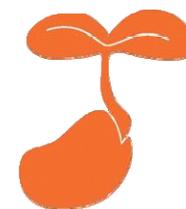


# 教員への働きかけ



# 取り組み事例①

- アンケートの実施
- リポジトリ推進委員会
- シンポジウム「機関リポジトリとこれからの学術情報流通」(2006年7月28日)
  - 学内教員24名、学内図書館員23名、他大学34名(うち図書館員28名)



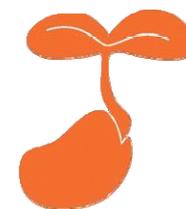
## 取り組み事例②

- パンフレット、グッズ
  - 「キク科の染色体データベース」
- 学内広報誌など
  - 『MAGE』『神戸大学最前線』
- Kernel通信
- ダウンロードランキング
  - 集計して分析、HPでお知らせ
  - 通知機能を予定



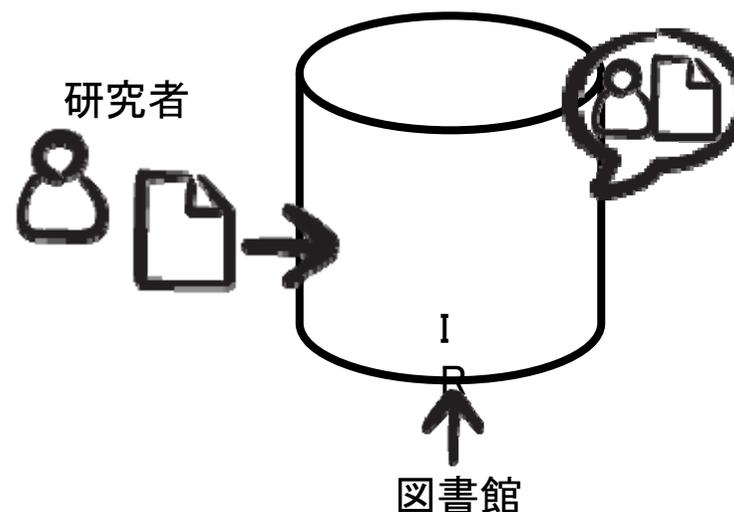
【巻頭言】	
<a href="#">イノベーションと文化</a>	錦木 誠
【特集】センター新システム	
<a href="#">学術情報基盤センターシンポジウム—高等教育における情報基盤の役割と今後の展望</a>	塚本 康夫
<a href="#">神戸大学の戦略</a>	冨田 佳宏
<a href="#">新センターシステムの紹介</a>	田村 直之 石井 裕
【寄稿】	
<a href="#">神戸大学学術成果「ポジリ」(Kernel)の誕生</a>	石定 泰典 田原 勝典

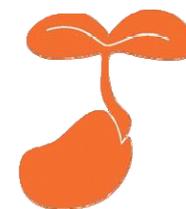




## 取り組み事例③

- インタビュー
  - 研究室訪問の一環
    - 「リポジトリ利用者の声を紹介する」という広報的側面もある
  - パンフレットのコメント
  - Kernel通信で特集
    - 研究紹介
    - 広報媒体という側面





# 取り組み事例④

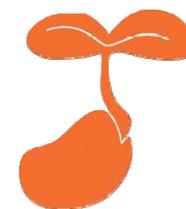
## 【収集対象】

- 紀要
  - すでに部局で公開済み
  - CSI委託事業(2006-09年度)
- 各種データベースで探す

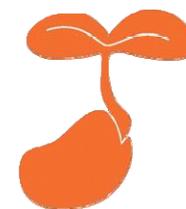
## 【対象者】

- アンケート回答者
- HPを公開している研究室
- 人脈を使う
  - 継続して収集できるとは限らない

- まずは手のつけやすいものから
- 継続して活動する



# 図書館職員への働きかけ

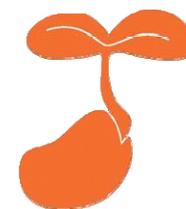


# 取り組み事例

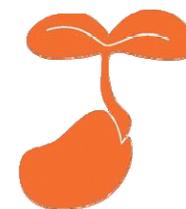
- 図書館職員向け説明会
- ワーキンググループ
  - 2006年度・2010年度
  - 各館のサービス担当者から構成
  - パンフレット、各種グッズ作成など

➤ 顔が見える窓口と人脈・継続的な活動

➤ リポジトリ担当にスムーズに引き継ぐ



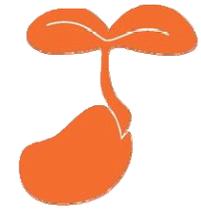
# 事務職員への働きかけ



- **なぜ、事務職員への働きかけが必要か？**
  - 学位論文授与式での事務とリポジトリ担当者との行き違い

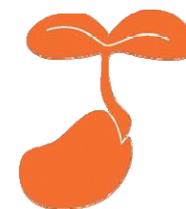
**➡ 学内他部署との相互協力が大切**

# 取り組み事例



キャッチフレーズ:  
ちょっとためになって  
ちょっと楽しくて  
きっと嬉しい

- 神大nextさろん
  - 神戸大学職員の交流の場
  - 図書館外の人と話をする機会
  - 草の根活動
  
- 業績データベースとの連携
  - 2007年度から相互リンク
  - ワーキンググループに参加中

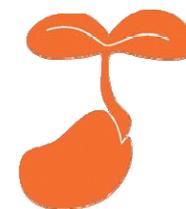


# その他の取り組み事例

- 第2回学長表彰特別賞(2010年10月21日)  
– 学内公募に応募
- Library of the Year2010優秀賞(2010年11月26日)

② 図書館やリポジトリの外へ

③ リポジトリを広報に活用する



# まとめ

- 一度の広報で効果があるわけでも、その効果が継続するわけもない
  - 立ち上げてからの継続的な広報活動、戦略
- ターゲットによっても異なる
- 認知度は少しずつ上がってきている
  - 自分がいいと思う事例を探して、説明に使う
  - 広報としての機関リポジトリ
  - 懐疑的な先生もいらっしゃるので、それを理解する